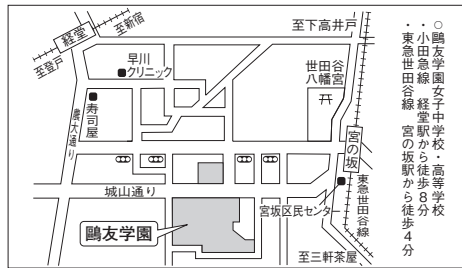


鷗友学園女子高等学校

〒156-8551 東京都世田谷区宮坂1-5-30 ☎03-3420-0136 学校長 柏 いずみ



〈URL〉 <https://www.ohyu.jp/>

沿革 昭和10年(1935)東京府立第一高等女学校(現都立白鷗高等学校)の同窓会である鷗友会が、鷗友学園高等女学校を設立。同22年(1947)鷗友学園女子中学校、同23年(1948)鷗友学園女子高等学校を設置して現在に至っています。

校風・教育方針

「慈愛と誠実と創造」を校訓とし、キリスト教精神による全人教育を行っています。また、「女性である前にまず一人の人間であれ」「社会の中で自分の能力を最大限発揮して活躍する女性になれ」という創立当初の校長の教えを教育の根本に据えています。人と人との関係の中で相手も自分も尊重し、社会の中で共に成長しようとする力。自らの可能性を発見し、意欲を持って学べる力。自由な発想を大切に、新しいものを創造できる力。この三つの力を大切に、グローバル化の進む社会の中で多様な価値観を1つにまとめ、リーダーシップを発揮できる女性を育てます。

カリキュラムの特色

多数のオリジナルテキストを用いて、自ら学び自ら発信する主体的な学習を大切にされたカリキュラムを組んでいます。

理科には5つの実験室とプラネタリウムがあります。数多くの実験に取り組みながら、自分たちで課題を見つけ探究できる力を育みます。

英語では、中学1年生から日本語を使わないオールイングリッシュの授業を展開し、大量の英語に触れる環境の中で英語を英語のまま理解で

今春の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



きる力を身につけます。また、約20,000冊の洋書を使って多読・多聴に取り組んでいます。

数学では、特に女子が苦手意識を持ちやすい単元に入る中学2年生で、1クラス20人程度の少人数制授業を行い、生徒と教員との活発なやりとりの中で授業を進めています。

さらに、校内の広い農園で行う園芸の授業や、体育のリトミック、芸術教育の充実など、特定の科目に偏らないバランスのとれた授業が特徴です。

中高とも授業でICT機器が多く活用されています。生徒は各自使い慣れたデジタルデバイスの使用を前提とした学校生活を行っており、授業だけでなくクラブ活動や生徒会活動など日常生活で多く活用しています。ICT機器を活用することで、生徒同士で意見を伝え合う機会が増え、プレゼンテーション力が高まるなど、学びの質の向上が期待できます。

グローバル化の社会に対応するさまざまなプログラムがあります。アメリカのチャート校サマースクールやフォードム大学研修、イギリスのチェルトナム・レディース・カレッジ研修など夏休みを利用して海外に行くプログラムの他にも、校外で他校と一緒にを行うプログラム、校内で行うプログラム、オンラインで行うプログラムがあり、それぞれが目的に合ったプログラムを選択できます。

高校2年生から理系と文系・芸術系のクラスに分かれ、高校3年生になるとどのような入試にも対応できるよう、多くの選択科目を置いています。さらに長期休暇中には国公立、私立難関大学受験のための特別講座を開設し、希望者には小論文の個別指導を行うなど、受験対策も充実しています。

2期制 登校時刻 8:35 昼食 弁当持参、売店 土曜日 授業

環境・施設設備

体育施設は校内で運動会が実施できる広々とした土のグラウンドや、全校生徒が収容できる体育館、小体育室、地下体育室など充実しています。

校内は環境に配慮した雨水利用システムや太陽電池パネルを設置。バリアフリーの観点からエレベーター、スロープ、だれでもトイレ、万に備えたAED装置などを設置して生徒一人ひとりが気持ちよく生活できるように配慮しています。

また、校外施設として、長野県軽井沢町に追分山荘があります。

生活指導・心の教育

女子は、集団の中に自分の居場所を見つけ、安心して学校生活が送れるようになってはじめて、学習面でも大きな力を発揮できるようになる傾向があります。

そこで、中学1年生はクラスを30人の少人数編成にし、3日に1回席替えを行うなど、生徒一人ひとりがありのままの自分でいられるような居心地のよい集団づくりに取り組んでいます。また、エンカウンターやアサーショントレーニングを取

り入れるなど、互いに自由に発言し合いながらも、他者も自分も尊重できるような人間関係作りを大切にしています。

学校行事・クラブ活動

鷗友学園では、学校行事や生徒会活動、部活動がとても盛んです。学園祭や運動会などの学校行事は実行委員会を中心に1年がかりで準備し、すべて生徒主体で運営しています。中学1年生から高校2年生まで毎年行う宿泊行事では、生徒たちが仲間とともに考え、実行するような体験を多く用意しています。

クラブ活動は運動部、学芸部、同好会と全部で36の団体があり、活発に活動しています。運動部は、剣道、水泳、ソフトテニス、ソフトボール、体操、ダンス、バトントワリングなど。学芸部は園芸、演劇、カメラ、プラスバンド、管弦楽、筆曲など。同好会は、イラスト研究、囲碁、英語、聖書、ホームメイキングなどがあります。ほとんどのクラブでは中高生が一緒に活動しており、クラブの技術はもちろん、勉強の仕方なども縦の関係の中で学び、高めあっています。

データファイル

2025年度入試日程

中学校

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
1回 約180	1/10~1/29	2/1	2/2	2/3
2回 約40	1/10~2/2	2/3	2/4	2/7

出願期間の最終日は23:59まで出願可

高等学校

募集を行っていません

2025年度選考方法・入試科目

中学校

国語、算数、社会、理科

〈配点・時間〉国・算・理・社=各100点45分

〈面接〉なし

指定校推薦枠のある主な大学

東京都立大 青山学院大 学習院大 北里大 慶應義塾大 国際基督教大 芝浦工業大 中央大 津田塾大 東京女子大 東京理科大 日本女子大 明治大 早稲田大など

2024年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
236人	190人	0人	0人	1人	0人	45人

2024年度入試結果

中学校 帰国生を含む

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
1回 約180	520	500	198	2.5
2回 約40	682	451	138	3.3

入試アドバイス・学校からのメッセージ

海外在留経験のある受験生へ：

加点制度があります。帰国生入試担当者へ電話でお問い合わせください。

学校説明会 要予約

6年生対象 9/4* 10/19
全学年対象 10/19 11/15 2/22*
※LIVE配信あり

入試対策講座WEB(6年生対象、要予約) 12/11公開
受験会場見学会(6年生対象) 12/14
部活動見学会 11/9 1/18

見学できる行事 要予約

学園祭 9/14・9/15

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください